

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	求人確保・求人者指導援助推進費	<b>担当部局庁</b>	職業安定局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度	<b>担当課室</b>	首席職業指導官室	首席職業指導官 伊藤 正史				
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用勘定	<b>施策名</b>	II-1-1:ハローワークの需給調整機能の強化、労働者派遣事業の適正な運営確保により、労働力需給のミスマッチ解消を図る					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	雇用保険法第62条第1項第5号	<b>関係する計画、通知等</b>	平成23年3月30日付け職発0330第13号「求人開拓関係の各種相談員の見直しについて」等					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	労働市場の需給調整を図るために、求人の量的確保や、求職者に適合する求人の確保を推進するとともに、求人者に対して求人充足サービスを実施する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	主要なハローワークに「求人開拓推進員」を配置し、事業所訪問等による求人開拓を行うことで、より多くの充足が見込まれる求人の量的確保や、正社員求人をはじめとする求職者のニーズに適合する求人の確保を推進するとともに、事業所情報の収集、求人充足を図るための相談・助言・情報提供等を通じて、求人・求職の積極的なマッチングを推進する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算			4,804	4,662	4,194	
		補正予算						
		繰越し等						
		計			4,804	4,662	4,194	
		執行額			4,501			
	執行率 (%)			93.7%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	求人開拓推進員1人当たりの開拓求人数	成果実績	人				901	800
		達成度	%				122.6%	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	求人開拓推進員1人当たりの接触事業所数	活動実績 (当初見込み)	件				943	-
							( 900 )	( 900 )
<b>単位当たりコスト</b>	2,687 (円/開拓求人数)		算出根拠	求人開拓推進員に係る謝金(執行額)/開拓求人数(全国年度計) = 3,858,395千円/1,436,140人				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3,825	3,382	求人開拓推進員の人員削減による事業の効率化				
	職員旅費	26	26					
	委員等旅費	181	147					
	庁費	630	639					
計	4,662	4,194						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	厳しい雇用失業情勢の中で、労働市場の需給調整を図るため、求人の量質両面の確保は不可欠。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	求人開拓は、求人内容に関する法令違反の点検・指導、事業主助成制度の説明、ハローワークとの継続的な関係構築等を必要とするため、国が実施すべき事業。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	予算の大半は、求人開拓推進員に係る諸謝金である。雇用失業情勢の見通しや前年度実績をもとに、求人開拓推進員1人当たりの開拓求人数の目標を設定するとともに、求人開拓推進員の削減により、コスト削減に努めた。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	予算の大半は、求人開拓推進員に係る諸謝金であり、事業実施に不可欠のものである。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	求人開拓は、事業所訪問等による継続的な働きかけが重要であり、これにより、事業所とハローワークの関係構築を図り、求人の量的確保に実効を上げている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	目標を上回る成果実績を上げている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	目標を上回る活動実績を上げている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	- -
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-
点検結果	<p>・上記の点検結果に問題はないため、引き続き適正に事業を実施する。</p> <p>・なお、平成24年度においては、求人開拓推進員の人数を前年比で▲50人、予算を前年比で▲1.4億円に削減するなど、さらなる事業の効率化を図った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	求人確保・求人者指導援助推進費は、執行状況を予算要求に反映すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
一部改善	雇用失業情勢の見通しや事業実績を踏まえ、求人開拓推進員の減員等により、更なる事業の効率化を図った。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	675	平成23年行政事業レビュー	612、21

国

厚生労働省  
4,501百万円



【予算示達】

都道府県労働局(47局)  
4,501百万円

- ・ハローワークに求人開拓推進員を配置
- ・事業所訪問等による求人開拓
- ・事業所情報の収集
- ・求人充足サービスの実施等

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・用途  
(「資金の流れ」  
においてブロック  
ごとに最大の  
金額が支出され  
ている者につ  
いて記載する。費  
目と用途の双方  
で実情が分かる  
ように記載)

A.			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					